

かんきょう観察会報告 No. 143

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時：2021年11月6日（土） 午前9時30分～12時30分

観察地域：西高島平駅～大宮バイパス歩道～荒川笹目橋堤防南斜面～笹目橋堤内地

参加者：梅田、川口、小林、佐藤、米澤、長澤、柏原、神山、宮崎（計9名）

当日の天気：晴、暖かい日より

観察結果

シロチョウ科

- ①キタキチョウ
- ②モンキチョウ
- ③モンシロチョウ

タテハチョウ科

- ①アカボシゴマダラ（幼虫）
- ②キタテハ
- ③ツマグロヒョウモン
- ④ヒメアカタテハ（成虫・幼虫）
- ⑤ヒメウラナミジャノメ
- ⑥ルリタテハ

シジミチョウ科

- ①ウラナミシジミ
- ②ベニシジミ
- ③ムラサキツバメ
- ④ヤマトシジミ

セセリチョウ科

- ①チャバネセセリ

観察概要

今日は、晴れて暖かな観察日となりました。午前9時35分に西高島平駅から出発しました。大宮バイパスの歩道を歩きながら、植え込みに生育しているエノキ・クスノキ・ヨモギ等に幼虫が付いていないか、セイタカアワダチソウ等に蝶が吸蜜していないかを観察しながら荒川の笹目橋に向かいました。歩道周辺で観察出来たのは、キタキチョウとアカボシゴマダラ（幼虫）でした。

9時50分に笹目橋の下流側に到着し、土手の南側斜面の観察を始めました。ここではコセンダングサやシロセンダングサの黄色い花があり、この花の蜜を吸いに多くの蝶達が飛び回っていました。ここで確認できた蝶は、キタキチョウ・モンキチョウ♂♀・モンシロチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・ルリタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ムラサキツバメ・ヤマトシジミ・チャバネセセリの11種となりました。河川敷では珍しいルリタテハとムラサキツバメが観察出来ましたが、ムラサキツバメは食草がマテバシイで河川敷にはほぼないので、どこで羽化してきた個体なのでしょうか？

10時50分に笹目橋上流側堤内地の土手下からボートの停留場方面に移動して行きました。ハキダメギクやクコの花に混じり、もうホトケノザ・オオイヌノフグリ・トキワハゼが咲いていました。外にセイタカアワダチソウ・オギ・セイバンモロコシ等で賑わっていました。この辺りで観察出来た蝶は、キタキチョウ・モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ヒメウラナミジャノメ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・チャバネセセリでした。その他の昆虫としては、アキアカネ・クワの木にゴマダラカミキリ・オンブバッタが観察出来ました。また、アブラナ科と思われる葉にカブラハバチ（幼虫）ハグロハバチ（幼虫）、エノキの幹にヘリヒロアオイラガの抜け殻繭・クコの葉にトホシクビボソハムシの幼虫・ナミテントウ等が観察出来ました。

11時45分にここから笹目橋をくぐり下流方向に進みながら観察しました。キタキチョウ・モンキチョウ・キタテハ・ツマグロヒョウモン・ベニシジミ・ヤマトシジミがいました。そのほかの昆虫では、フクラスズメ(幼虫)・トノサマバッタ・ツチイナゴ等が見られました。12時が過ぎましたので土手で昼食としました。

昼食後、観察をしながら新高島平駅方向に進みましたが、ヒメアカタテハの幼虫が観察出来ました。

今日の観察では、14種の蝶が観察出来ました。

2021年11月6日(土) 観察写真



キタキチョウ



モンキチョウ(交尾)



モンシロチョウ



アカボシゴマダラ(幼虫)



キタテハ



ツマグロヒョウモン♀



ヒメアカタテハ



ヒメアカタテハ(幼虫)



ウラナミシジミ



ベニシジミ



ムラサキツバメ



ヤマトシジミ



チャバネセセリ



アキアカネ



オンブバッタ



カブラハバチ(幼虫)



キイロテントウ



ゴマダラカミキリ



ツチイナゴ



トホシクビボソハムシ



ハグロハバチ (幼虫)



フクラスズメ (幼虫)



ヘリヒロアオイラガ (抜殻の繭)



オオイヌノフグリ



ハキダメギク



ホトケノザ